

活性化策 市民ら模索 庄原でセミナー

地域活性化を考えるが参加した。

「地域資源活用セミナー」が、庄原市西本町の市ふれあいセンターであった。しようばら産学官連携推進機構の主催。住民ら約二十人

が参加した。神戸夙川学院大講師の河本大地さんが「エコツーリズム・グリーンツーリズムの現状と可能性」をテーマに講演した。相互扶助や自

然との共生



「すべての地域に存在価値がある」と、里山の暮らしの継承を訴える河本さん（右端）

ヨップも実施。「自給自足のモデル地域化をすれば」「今あるものをフル活用すべきだ」などの意見が出た。

（戸田剛就）

安芸高田で講演

「ボランティア
笑顔で楽しく」
笑い学会講師

里山の営みを次世代につなげる取り組みの必要性を強調。学びの場としてのツアー企画や「限界集落」のレックドデータブック化などを提案した。

参加者を三班に分けてワークショップ
ボランティア活動に笑顔で取り組もうと、安芸高田市吉田町で日本笑い学会講師野口剛徳さん(76)が広島市安佐南区祇園IIの講演会があった。

市ボランティアセンター連絡協議会が催